

# 京交山岳部報

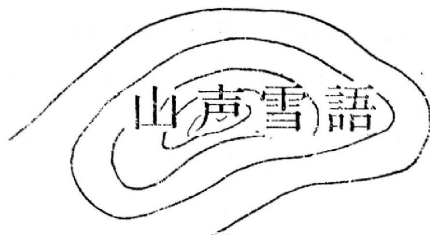
例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2505回★ 初登山 猪背山	1月6日(土) 8:00 竹田駅西口集合	井戸 澄夫 清水 康裕 堀田 剛	竹田駅-京都東IC-瀬田西IC-R422-富川(駐車)…山ノ神…猪背山…納所-R422-石山-R1-京都-壬生厚生会館前
備考 山頂でぜんざいをしますので、各自モチをお願いします。 参加希望者は担当者まで連絡して下さい。			
第2506回★★ スノーシュー山行 ホサビ山	1月14日(日) 7:00 壬生厚生会館前集合	吉田 武	壬生-R162-安掛-登山口 駐車…平屋富士…ホサビ山 …高圧鉄塔下…野添谷川… 安掛-京都
備考 装備：冬山日帰り装備 費用：1000円			
第2507回★★ スノーシュー山行 雲取山	1月27日(土)	清水 康裕	
備考 詳細は担当者までご確認下さい。			
第2508回★★ スノーシュー山行 鴨瀬谷山	2月3日(土) 7:30 壬生厚生会館前集合	吉田 武	壬生-周山-上弓削-八丁林 道-衣懸谷出合(駐車)…衣 懸谷…コシキ峠…鴨瀬谷山 …八丁大道…衣懸谷出合- 周山-京都
備考 装備：冬山日帰り装備			

## 今月の集会 (新年会)

日時 1月11日(木) 18:30~  
場所 「かごの屋」(四条烏丸下ル)  
詳細は雑報をご参照下さい。

## 企画運営委員会

日時 1月23日(火) 18:30~  
場所 厚生会館 4F 六角会議室



京交山岳部の第2500回記念例会の皆子山は、11月11日が雨で延期となり、11月25日に実施された。2000回例会から丁度一回り12年経った。2000回では創部45周年記念例会と兼ねて台高山脈の薫ノ峰に登ったが、晩秋の冷たい雨が急死した三浦管理者の涙雨に思われたものであった。薫ノ峰という山名の由来となった初代部長、近藤 薫氏も逝去して久しい。皆子山はササの茂みを掻き分けて登るといった記憶が強いが、そのササが今年は花が咲く当たり年なのか枯れてしまって、散髪した後のようにすっきりしていた。

新年(平成19年)の干支は「丁亥」(ひのとい、ていがい)である。「丁」は十干の4番目、「亥」は十二支の最後12番目である。亥の字は「とぎす、とじる」意味で、万物が枯れはて生命が種子の中に閉ざされた様子を表す。季節でいうと初冬(旧暦10月)、方位は北北西、時間では21時~23時を示す。日本では亥を動物の猪にあてている。亥の干支で張り切っているのが、御所の蛤御門の向かいにある護王神社である。ここは狛犬が猪という珍しい神社である。護王神社の祭神は和氣清麻呂で、宇佐神宮の神託を受けて怪僧道鏡の天皇即位を阻止したことで有名である。その清麻呂が命を狙われたときに、護り導いたのが猪の群れであったと伝えられている。和氣清麻呂はまた桓武天皇に平安京への遷都を進言し、造宮太夫としても活躍するなど、京都とも縁の深い人物である。烏丸御池駅ギャラリーでは、恒例の「京の絵馬展」(12月23日~1月14日)を開催しているが、護王神社から出展された猪の大絵馬が中央に鎮座している。山の帰りにでもちょっと見に立ち寄るのもよいでしょう。

(H. 18. 12. 23. 記 S.I.)

「京都府最高峰」

皆子山

岡田茂久

京都北山からヒマラヤへ、先人達を育み、先人達が慣れ親しんだ京都北山。京都市内から比較的近郊にありながら、満足な登山道を持たず、沢伝いに渡渉を繰り返す、苔むした岩を攀じり、頂上近くは急坂で猛烈な笹のトンネルを潜る京都北山の山々の中でも、登り難い山の一つである。その代わり登頂後は京都北山の魅力を収縮した満足感を十分に味わえる山でもある。

11月25日、例会予定日が悪天候の為に変更になったとはいえ、京交第2500回記念例会としては、8人と少し寂しい参加者である。集合場所の連絡ミスでもたついたものの、予定どおり「つぼくり谷から皆子谷へ」と横断すべく、1台を坂下に駐車、もう1台に窮屈ながら8人が乗り込み、芦尾谷の発電所取水堰手前に駐車したのは、もう9:00であった。天気は薄曇りで時おりに時雨、紅葉真っ盛りとはいえ、今ひとつ冴えない天気である。

発電所取水堰は使用されていない様子で、湛水は無く荒れた堰の下部構築を流れが洗っていた。高まき道から木の間越に見るKRAC芦尾小屋も荒れた感じである。時折差し込む太陽の光に紅葉が冴え、紅や黄色の落ち葉を流れに巻き込む清玲な芦尾谷を幾度か丸木橋で渡る。

本来ルートと間違い易い「わり谷」出合を過ぎ「つぼくり谷」出合で小休止、誰かが出してくれたチョコレートの甘みが気分をほっとさせてくれる。

「つぼくり谷」も以前とは荒れた感じで、踏み跡はあるものの渡渉の繰り返しと、朽ちた丸木橋と丸太の梯子を乗り越えていく。城丹国境線を越えると谷は広くなり、懐かしい栃の大木は未だ健在だった。

しかし、栃の大木の周囲も、それを越して左折し頂上へ突き上げる沢も以前とはなんとも雰囲気異なっている。下生えが無くあっけらかんとなんとも明るすぎる。

頂上直下の急坂は以前とは変わりは無いものの、あの笹のトンネルは無く、枯れ残りがしょぼしょぼと申し訳なさそうに生えているだけであった。あっけなく頂上三角点に到達する。

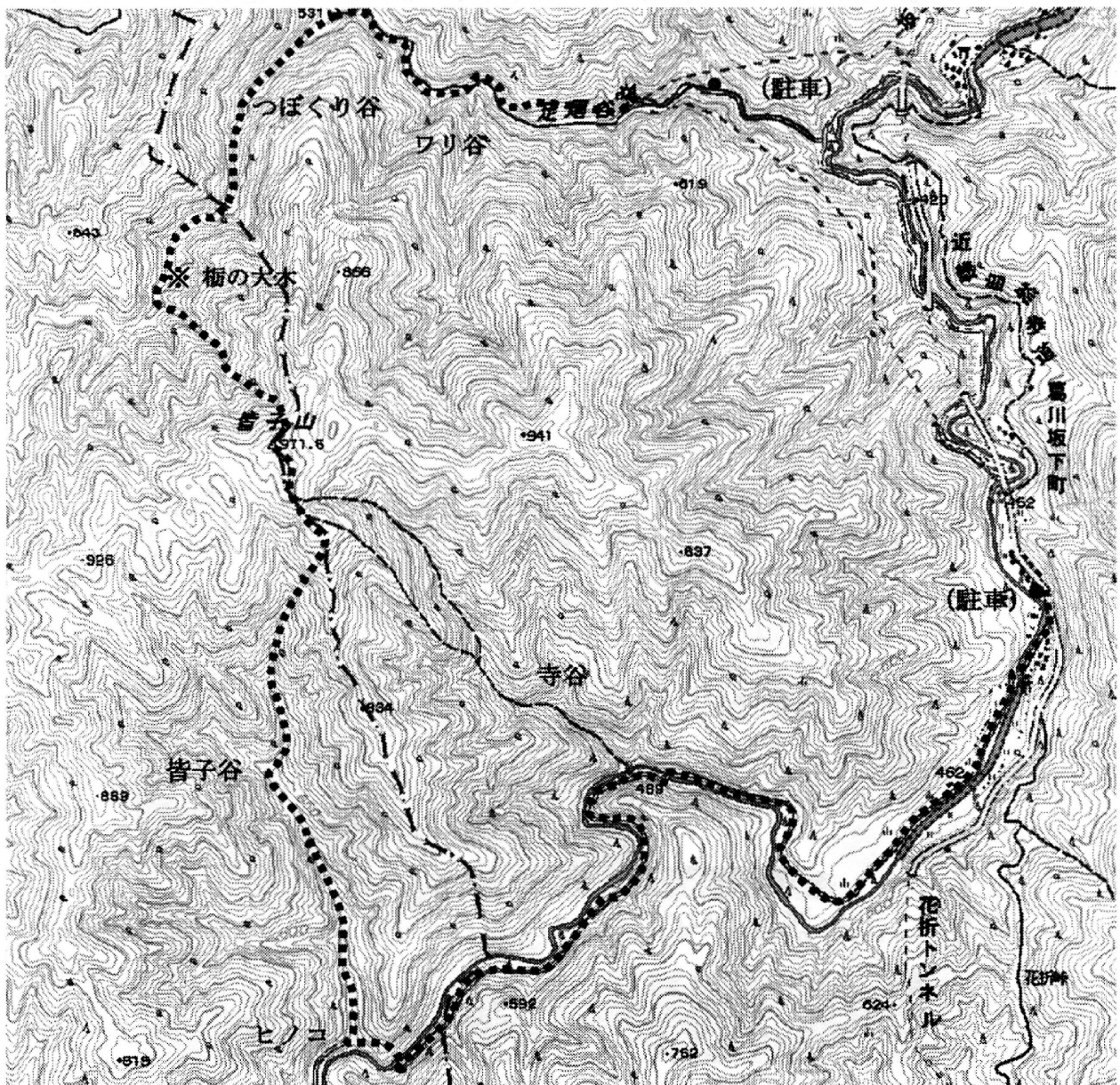


久しぶりの皆子山の頂上はこんな広かったかな、正直な感想である。記憶にある皆子山の頂上は丈を越す根曲竹に囲まれ展望も無く、三角点の周りに5、6人も座ればいっぱい頂上であったはずだが、北山一帯は10数年に1度の笹類の開花により笹類が枯死し、どこに登っても明るい山域に変貌しているが、北側は大きく伐採され峰床山は指呼の内、その上、頂上が2、30人は集える広場と化しているのには驚いた。

時折の時雨はあるものの、暖かい食事と久しぶりに山行を共にした仲間との歓談は頂上滞在を1時間も許してしまった。

さすがに頂上付近は切開きがしっかりとしており、下山路確認のため以前のように地図を改めて読むことも無い。寺谷ルート分岐を過ぎ皆子谷ルートへの急坂の下降に入る。頂上南面は西面ほど笹枯れは進んでおらず、おかげで急坂も笹を掴みながら下降出来たのは膝の故障を抱える身には有り難かった。とは言うもののはっきりした道ではない踏跡を探りながらの谷の下降は結構疲れる。

皆子谷下部の沢分岐で小休止。ここまで下ればヒノコへの道が現れてくるはずだが、油断は禁物で案の定高巻き道に誘導され要らぬアルバイトを強いられる。谷沿いに忠実に下ることだ。ヒノコで百井の修道院から来る道に乗ったが、ここには坂下への明瞭な分岐の標識が無い。うっかり行き過ぎるところであったし、皆子谷の丸木橋は朽ちて落ちている。どうもこのルートは登山者を通したく無



いようだ。決定的なのは安曇川源流の渡渉地点。対岸に林道を見ながら橋が無い。上流から流れてきたのか、丸太が1本流れの中に浸かっているだけである。幸い我々は靴を半分ほど濡らしながら丸太沿いに渡渉出来たが、増水時にはどうしようも無く百井方面に大きく迂回する必要があるようだ。坂下からの林道に登りつきほっとするが、これから長い坂下までの林道歩きが待っているので早々に出発。

20分程の寺谷の出合には皆子谷ルートとは大違いで立派な丸木橋が架かっている。

皆子山へのメインルートは寺谷コースになっているようだ。

皆子山の紅葉はいま一つと言うところだったが、帰途に立ち寄った古知谷寺の境内は全域が黄葉に覆われ、文字どおり息を飲むほどの素晴らしい景観であった。

【時間記録】 芦尾谷発電用水取入口下（9：00）～つぼくり谷出合（9：30）～栃の大木（10：25）  
～皆子山（11：20～12：10）～皆子谷二又（13：00）～林道（13：30）～寺谷出合  
（14：05）～坂下（14：40）

【参加者】 井戸澄夫，大槻雅弘，岡田茂久，方山宗子，清水康裕，三橋 勉，森本清一，鷺見寿末子

#### 【個人山行】

## 「十二坊」 405.1m

吉 田 武

田舎に帰ったついでにと何時も思っている山である。

11月の25日にその日がやってきた。栗東ICで降りて何時ものルートで十二坊温泉「ゆらら」に車を置いた。少しもどって林道を30m程は行ったところに道標が目についた。道標に従って登山道を行くと120m程自動車道路と平行になって登山道がついている，鞍部から右に曲がってやっと頂上に向けて道がある，なだらかな登りで20分も歩くと正面にNHKのアンテナが見えた。又少し右にルートを取り尾根に出た鋭角に左に曲がったらこんもりとした砂地の上に三角点があった49年ぶりの山頂であった。

下山後に岩根の長老に十二坊のいわれを聞いたらい伝えでは、宝蔵坊、中立坊、善覚坊、角起坊、宝乗坊、岩蔵坊、宝泉坊、持蓮坊、角心坊、善明坊、浄心坊、大門坊の十二坊が山頂付近にあったそうである。

# 例 会 報 告

例会No	目的地	月 日	天候	担当者	参加者	記 事
2500	第2500回記念例会 皆子山	11月11日		井戸 澄夫 清水 康裕	大槻 雅弘 岡田 茂久 方山 宗子 三橋 勉 森本 清一 鷺見寿未子	(別稿詳報)
2501	岳連 自然観察会 京都西山	11月12日		岡田 茂久		(次号報告)
2502	立木観音～醍醐山	12月9日		清水 康裕		(次号報告)
2503	音羽山～高塚山	12月2日		清水 康裕		(次号報告)
2504	納山祭 金毘羅山・翠黛山・ 焼杉山	12月16日 ～17日		吉田 武 岡本 義弘	井戸, 清水 方山, 岡田 渡辺, 森本 田村, 室谷	(次号報告)

# 雑 報

## △△△ 12月の集会

日 時 12月11日 (月) 18:30～  
場 所 厚生会館 4F 大教室  
出席者 井戸, 吉田, 渡辺, 大槻, 岡田, 方山, 和田, 清水  
内 容 例会予告, 例会報告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

## △△△ 11月の企画運営委員会

日 時 11月21日 (火) 18:30～  
場 所 厚生会館 4F 六角会議室  
出席者 井戸, 吉田, 大倉, 方山, 清水  
内 容 例会予告, 岳連関係報告ほか

△△△ 他山岳部の会報（受贈分）

11月号 北山, 木雞, わっぱ, 比良山岳

12月号 わっぱ, 北山, 京都山岳, 青嶺, 比良山岳, 木雞, 趣味の登山  
創立50周年記念号 木雞（好山好会）

△△△ 平成18年度部費受領者について

前号までに掲載しました部費受領者に加えて、12月20日までに次の方々から受領しましたので報告します。

岡本 孝, 大杉雅晴, 澤井佳三, 清水 明, 足立公弘, 中山忠之, 小森 浩, 岡本義弘

△△△ 部費未納の皆様へ

平成18年度の部費を未納の方は、早急に納入されますようお願いいたします。

郵送あり：7,500円, 郵送なし：6,000円

△△△ 岳連からのお知らせ

岳連関係の予定（1月～2月分）

1月17日 新年交流会 ホテル京阪

2月4日 積雪期遭難対策訓練

2月18日 野鳥観察会（伊庭内湖）

積雪期指導員研修会

△△△ スキーツアーのお知らせ

岩岳スキーツアー〔担当；吉田 武〕

日 時 平成19年2月9日（金）～11日（日）2泊3日予定

場 所 白馬 岩岳スキー場・梅池スキー場

集 合 烏丸五条6：15 川端五条6：20 費用 50,000円

行 程 京都～小牧～諏訪～豊科IC～R147～信濃大町～R148～北條新田

お や ど 長野県北安曇郡白馬村北條新田

「リゾートやまひら」の旧館です コタツがありますよ

山岸 忠 TEL0261-72-2358

1日目 京都から直接スキー場に行く 少しだけ滑って酒を飲むことにする

2日目 少しだけ滑って酒を飲み また滑ることにする〔野外大パーティ〕

3日目 少しだけ滑って温泉に入って帰る

※3日間 岩岳スキー場, 梅池スキー場

※参加者は1月20日までに担当者に連絡してください。

△△△ 平成19年1月集会兼新年会のお知らせ

日 時 平成19年1月11日（木）18：30～

場 所 四条烏丸下がる地下鉄四条駅6番出入口「かごの屋」TEL075-353-8936

会 費 5,000円（当日徴収）

担 当 清水 康裕（外253-6160, 内694）

堀田 剛（外822-9322, 内739）

備 考 参加希望者は1月8日までに担当者まで連絡ください。